



理念	現場運営	知識	合計
/16	/20	/64	/100

所属施設： 所属部署： 受験番号： 氏名：

ケアマイスター試験を受ける前に

ケアマイスター制度には、スタッフ 1 人 1 人に「自ら考える力を身につけてほしい」という思いが込められています。そのため、問題には自由記述で解答するものが含まれています。できる限り自分の考えを書き込めるように、問題文にしっかりと目を通し、間配分を意識して試験に取り組んでください。

《法人理念に関する問題》 16 点

1. ケアマキスの求める職員像「フェア＆オープン意識を持ち考える人」に基づいて下記の問題に答えなさい。

フェア＆オープン意識：意見は秘めることなく言う、ただし主張ばかりせず他者の意見を聞く際は相手を否定せず、建設的な話し合いができる人。

ある日上司より新入職スタッフが入ってくるのでエルダーとして担当して欲しいと指示がありました。新入職するのは下記の2名です。

- ① 特定技能外国人（女性）
- ② 他施設で10年以上の介護経験があり、リーダー職も担っていた40代の職員（男性）

※エルダー制度：ケアマキシが新人スタッフのOJTとして導入している制度。新人スタッフに対して所属長が直接指導するのではなく、年上の先輩職員が教育係（エルダー）となって実務指導に加えて職場生活上の相談役も担う。

(1) ①②のスタッフが入職してくるにあたり、あなたは事前にどのような意識をもってスタッフを迎える必要がありますか。フェア＆オープン意識に沿って1つずつ答えなさい。（配点2×2）

	あなたが①②のスタッフと関わる際、事前にもっておくべき意識
① 特定技能外国人	・言葉が伝わりにくいから言わないのではなく、どのようにすれば意見が伝わるのかを念頭におく ・外国人だからと差別意識を持たず、他職員と同様に情報や指示を出すようにする ・文化の違いを理解しながら相手の意見を聞く 等
② 他社で介護経験の長い中途社員	・前歴の経験をしっかり聞きながら、ケアマキシの考え方をどのように伝えるのか ・前歴に隠せず、違うことは違うとしっかり伝える ・前歴の経験を活かしていけるように意見交換をする 等

(2) あなたが①②2人のスタッフのエルダー担当となり、数日が過ぎました。ある日あなたは担当として面談を行い、①②のスタッフより下記の話聞き取りました。

- ① 特定技能外国人 「他のスタッフも優しく接してくれているが、日本語が難しくて教えてもらっても分からないことが多い」
- ② 他社で介護経験の長い中途社員 「業務の流れはなんとなく理解できている。ただ若いスタッフが多くてなかなかスタッフの輪に入りにくい」

この話を受け、あなたはどのような対策を行いますか。具体的に2つ答えなさい。（配点2×2）

① 特定技能外国人	・どの言葉がわかりにくいのか具体的に聞き取り、国の言葉を交えながら説明する ・他のスタッフにもジェスチャーなどを多用しながらコミュニケーションをとっていくように伝える ・自分自身もその方の国の言葉を学び、わかりやすく説明できるようにする 等
② 他社で介護経験の長い中途社員	・自分が他スタッフとの仲介役となり、他スタッフと繋がりが持ちやすいようにする ・他スタッフとの共通の趣味がないか聞き取り、イベントを企画してみる ・他の中途職員と関わる環境を設定し、意見交換する場を設ける 等

※エルダーとして自分自身がどのような対策を行うかが記載できていれば可。上司に相談するなど他者任せの解答は不可。



2. ケアマイスターの求める職員像「質の高いケアをめざし、自らの成長を目指す人」に基づいて下記の問題に答えなさい。

当法人では 2014 年に介護技術認定制度として「ケアマイスター制度」を導入し、介護現場で働くケアスタッフの「介護技術と知識の向上」を目的としています。ケアマイスター試験を実施することで、個人のスキルアップだけでなく、会社全体の企業力アップにつなげています。この制度を継続するためには、スタッフ 1 人 1 人がケアマイスター制度の意義を深く理解することが大切です。

(1) ケアマイスター制度を通じて、法人が従業員に対して期待する教育効果を2つ答えなさい。(配点2×2)

- ・新人スタッフが先輩スタッフの経験年数や技量を認知でき、質問できる相手がわかりやすく不安解消、安心感へつながる
 - ・毎年筆記試験と実技試験を行うことで、スタッフの技術や知識が向上できる
 - ・5段階のクラスを設定することで、スタッフが毎年目標を持って働くことができる
 - ・試験内容が筆記・実技ともに介護福祉士や介護支援専門員試験に準じており、国家試験に向けた学習意識が身につく、試験に対する不安も解消できる
 - ・介護技術において自分がどのレベルにあるかを認識でき、自身のスキルアップにつなげやすい
 - ・勉強会や試験を通じて試験勉強の方法や、おさえるべきポイントが分かるようになり、国家試験の合格率も向上する
 - ・試験や勉強会を通じて介護技術・知識が身に付いた現場指導者を育成でき、指導する者も指導を受ける者も安心できる
 - ・資格を取得することが介護職のステータスとなり、スタッフの意欲や自信も高まる
- ※従業員に対しての効果を答え、お客様や外部企業に対する事については×とします

(2) 初めてブロンズ試験を受験するパートスタッフから「なぜ受けないといけないのか。介護の仕事はできているので、受験する必要がないと思います」と話がありました。

あなたはブロンズ試験を合格した者として、試験を受けたことでどのようなメリットがあったか。客観的な視点にたって伝えられる内容を答えなさい。
(配点 2×2)

(例)

- ・新たな知識を得ることができた
 - ・「できている」と思っていた技術の振り返りをする中で自信につながった
 - ・お客様（同僚）から技術があると信頼されるようになった
 - ・お客様へのケアについて、提案できることが多くなった
 - ・お客様一人ひとりにあった介護ができるようになった 等
- ※ブロンズ試験を受けて受験者自身が実際にメリットと感じたことが記載できていれば可。(1)と同じような解答は不可

《現場運営管理問題》 20 点

1. 下記事例をもとに問題に答えなさい。

【事例】

真木州 A 子様 70 歳 介護度 4 特別養護老人ホームに入居中。

- ・食事：自力摂取（普通食・水分も普通）総義歯
- ・認知：認知症高齢者の日常生活自立度Ⅳ 質問に対して受け答えは難しい。
- ・移動：車椅子全介助
- ・疾患：アルツハイマー型認知症・便秘症・
- ・その他：よく面会に来ていた息子が入院し最近面会に来なくなった。

真木州 A 子様は特養に入居し 3 年が経ちます。もともと食べることが好きで昔は食べ歩きを趣味にしていたとの事。しかし最近食事量が少なくなっており、月の平均でも 5 割前後で体重も-3kg となっています。また食事中に咽ることも増えてきており、何らかの対策が必要です。



- (1) あなたは真木州 A 子様の担当をしています。真木州 A 子様が採血を行った結果アルブミンの値が 3.5g/dl で低栄養の状態で、最近食事量も低下してきているため、次回のカンファレンスで真木州様の食事に対する検討を行うことになりました。そこで担当であるあなたは課題の分析を行うことにしました。上記に事例をもとに課題と思われる現象を最大限推測し、それに対する具体的な対策を下記に 2 つ答えなさい。(課題配点 1×2 対策配点 2×2 計 6)

【課題】	➡	【対策】
【課題】	➡	【対策】

解答

- (課題) 咀嚼 関係 (咀嚼が困難になってきている等) ⇒ (対策) 食事形態の変更等
(課題) 義歯 関係 (義歯があっていない等) ⇒ (対策) 歯科の受診等
(課題) 認知 関係 (食べる物かどうかわからない等) ⇒ (対策) 食事を温めなおし嗅覚にうたえる等
(課題) 疾患 関係 (便秘で食欲不振に繋がっている等) ⇒ (対策) 排便のコントロール等
(課題) ストレス 関係 (長男が面会に来なくなりストレス等) ⇒ (対策) 他の家族がいれば来てもらう等
(課題) その他 (施設の食事に飽きた等) ⇒ (対策) 本人の好きな物を外食に連れていく等
※課題は事例に沿っていないものに関しては不可。対策は抽象的なもの、課題に沿っていないものは不可。

- (2) カンファレンスの中で最近誤嚥性肺炎による入院やむせる方が増えてきたと話題になり、誤嚥について新しく入職してきたスタッフに対して研修を実施することになりました。あなたは誤嚥予防の研修項目にどのような内容を盛り込みますか。研修の【内容】とその内容を入れる【理由】を答えなさい。(配点 2×2)

【内容】
【理由】

解答

- 【内容】嚥下のメカニズム⇒【理由】飲み込みの原理や体のしくみを理解しないと誤嚥に繋がる理屈がわからないから
【内容】食事時の正しい姿勢⇒【理由】正しい食事姿勢を理解せずに介助を行うと誤嚥や窒息につながる恐れがある
【内容】食事環境など⇒【理由】食事後すぐに横にならない(逆流)、口腔内の乾燥などで誤嚥の恐れに繋がるから
【内容】口腔ケア⇒【理由】口腔内を清潔に保てていない状況では誤嚥性肺炎のリスクが高まるから
【内容】嚥下機能を防ぐ筋力維持⇒【理由】食事に必要な口・舌・頬などの筋力を刺激することで唾液の分泌を促進し誤嚥の予防となるから 等
※内容については誤嚥の予防策になっていれば可。内容に対して理由が繋がっていない等は不可。

2. あなたは特別養護老人ホームで働く入社 2 年目のスタッフです。来週開催される特養会議で、今月の特養の実績について話し合うことになっています。あなたは会議に参加するにあたり、特養の実績について予習をすることになりました。下の表は今月(11 月)の特養の実績です。下の表を参考に以下の問いに答えなさい。

	予算金額	利用床数	空床	稼働率	入所定員	平均単価
11 月末見込み (15 日現在)	¥40,950,000	2925	75	A	100	¥14,000

※月間日数は 30 日とする。

利用床数…1 ヶ月で使用された床数(ベッド)のこと。

空床…1 ヶ月に使用されなかった床数(ベッド)のこと。



稼働率…1ヶ月に利用可能な床数(ベッド)のうち、実際に入居者が使用している割合のこと。(利用床数÷MAX 利用床数＝稼働率)

(1) MAX 利用床数(1日も空床がなかった場合の利用床数)は(3000) 床である。(配点 1)

①2925(利用床数)+75(空床)=3000 床

②30(日)×100(床)=3000 床

(2) 表のAにあてはまる特養の今月の稼働率の見込みは(97.5) %である。※小数第一位まで (配点 1)

2925(利用床数)÷3000=0.975

△97%、98%

0.975×100=97.5%

(3) 明日(16日)より、1名の入居者が体調悪化にて入院することになりました。入院の期間は15日です。(配点 2×2)

それに伴い、11月の稼働率の見込みは①(97.0) %になる。 ○97%

また、実績金額は②(¥40,740,000) となる。

①75(空床)+15床=90床

3000床(MAX 利用床数)-90床=2910床

2910床÷3000床=97.0%

②2910床×14000(平均単価)=¥40,740,000

(4) 特養の稼働率を下げる主な要因は「入院」です。入院の理由は様々ですが、ケア方法の見直し等で入院を回避できるケースもあります。

回避できる入院の原因(理由)として考えられるものあげ、回避するための対応策を答えなさい。(配点 2)

(原因)	(対応策)
①誤嚥性肺炎	①お食事形態の見直し、食事の姿勢の見直し、口腔ケア方法の見直し等
②骨折	②転倒等による原因の再発防止策の共有、ケア方法の検討 →見守りだけは×
③感染症	③感染症の予防(手洗い、うがい、手指消毒、物品の消毒)等

褥瘡○、尿路感染○

(5) あなたが、実績の予習をしていると、入社1年目の後輩から、「入居者のケアをすることが私たちの仕事なのに、なぜ会議で実績の話し合いをするんですか？」

と質問されました。会議で実績を確認しあう大切さをあなたならどのように後輩へ伝えるか答えなさい。(配点 2)

- ・目標に対してどれだけ達成されているかを確認する手段。これにより我々がどの程度の成果を上げているかを客観的に把握することができる。
 - ・課題や改善の機会を見つけるための手段。達成できなかった目標や課題があれば、それについて考え、次回に向けての改善点を見つけ出すことができる。
 - ・実績を見る事で施設経営が良好か、人気を維持する事ができているか等客観的に自施設の評価を確認する事ができる。
 - ・実績が悪かった原因が入院者が増加したから等原因を把握する事ができ、またその原因に対して対策を行う事ができる。
- ×給料をあげるため

≪知識問題≫

1. 身体拘束について、下記の問いに答えなさい。 6【人間の尊厳と自立】

(1) 介護保険法では身体拘束を行うことは原則として禁止していますが、やむを得ない場合は3つの要件全てを満たした場合に限り認められています。

その3つの要件のうち、2つ答えなさい。(配点 1×2)

--	--

切迫性 ・ 非代替性 ・ 一時性 (これらの言葉通りでなくても意味があてれば○)

(2) 下記①②のケースに対し、身体拘束をしなくても良い対策・工夫を答えなさい。(配点 2×2)

①徘徊をしないように、車いすやいす、ベッドから立ち上がれないようにベルトやひもで固定する。

- ・徘徊をする原因・理由を考え、対応策をとる(家に帰ると出かけようとする方なら施設を家と思ってもらえる環境作りをする／徘徊する高齢者の気持ちになって一緒に歩いたり、疲れる前にお茶に誘うなどして本人を納得させる工夫をする。
- ・転倒しても骨折やけがをしない環境を整える(敷物・カーペットの固定／障害物になりうるものを除去する／手すりの設置／照明の工夫／クッション性のある床材)
- ・見守りの強化、スキンシップを測る等 常に高齢者に関心を寄せておく(ユマニチュード等の実践／見守りしやすい環境づくり／定期巡回を増やす)

○センサーマットを使用する



②脱衣やおむつはずしを制限するために、介護衣（つなぎ服）を着せる。

- ・おむつに頼らない排泄を検討する（排泄間隔の把握を個別に行い、適時のトイレ誘導／おむつをやめて、尿パットのみにするなど排泄方法の見直し）
- ・脱衣やおむつはずし行為の原因を考え、対応策をとる（肌着がごわごわしていないか／おむつの素材に問題はないか／排泄物による不快感が原因ではないか）
- ・かゆみや不快感が原因ではないか（薬を使用し、かゆみを除去する／入浴の際の洗体方法の見直し／入浴後の保湿クリーム／かゆみを紛らわす気分転換）

2. 人間関係とコミュニケーションについて、適切な語句を下記の語群からアルファベットを選び、（ ）に記入しなさい。（配点 1×4） 【人間関係とコミュニケーション】

コミュニケーションとは、人が意思、感情、情報などを（① e 伝達 ）することであり、複数の人が情報などを伝え合う（② 双方向性）を持っている。

言語伝達媒体とは言語のことであり、会話や電話など話して伝える手段、手紙やメールなど書いて伝える手段、手話を使って伝える手段などがある。

非言語的媒体とは、ジェスチャーや言語と言えないようなり声やため息など非言語のことである。無意識のうちに発信される相手に対する動作、視線、表情、（③ i 姿勢 ）、話すりズム、声のトーンなどがある。

コミュニケーションの妨げになる環境を（④ c 雑音 ）という。騒音や障害、偏見などがある。

a.双方向性 b.一方向性 c.雑音 d.ラポール e.伝達 f.意思 g.整理 h.体制 i.姿勢 j.感情 K.傾聴

3.高齢者に関わる制度について、下記の問いに答えなさい。 9 【社会の理解】

（1）介護保険制度について、不適切なものを2つ選び、番号で答えなさい。（配点 1×2）

- ①第一号被保険者は市町村に住所を有する 65 歳以上のすべての人。
- ②第二号被保険者は、40 歳以上 65 歳未満の市区町村に住所を有し、特定疾病の診断を受けたすべての人。
- ③介護保険の保険者は市町村及び都道府県である。
- ④居住している市町村以外の介護保険施設に入所した場合は、住所地特例により前住所地の市町村が保険者となる。
- ⑤区分支給限度額を超えて利用した場合、超えた分の介護サービス費は全額自己負担になる。

②

③

×②すべての人ではなく、医療保険加入者 ×③都道府県ではなく特別区

（2）介護サービスについて、特徴と一致するサービス名を答えなさい。（配点 1×4）

特 徴	サービスの種類
① 常時、介護が必要な人に生活の場を提供する。	介護老人福祉施設、特別養護老人ホーム ○特養 ○特定施設
② 介護老人保健施設や病院などに通い、理学療法士や作業療法士などが、医学的管理に基づいた リハビリテーションを行う。	通所リハビリテーション、デイケア
③ 自宅に訪問し、食事や排泄の介助、家事の支援、通院の介助などを行う。	訪問介護、ホームヘルプ △ヘルパー
④ 短期間で施設に宿泊し、介護や生活支援などを行う。	短期入所生活介護、ショートステイ

（3）個人の権利を守る制度について、下記の語句からアルファベットを選び、（ ）に記入しなさい。（配点 1×3） 【社会の理解】

（① i 法定 ）後見制度は、認知症、知的障害、精神障害などですでに判断能力が不十分な状態になっている方が対象。対象者の判断能力に応じて、補助、（② c 保佐 ）、後見のいずれかの制度を利用する。

消費者が訪問販売などで申し込みや契約をした場合でも、決められた期間内なら申し込みや契約の取り消しができる制度を（③ g クーリングオフ ）という。

a 支援 b 補佐 c 保佐 d 予防 e 消費者基本法 f スクエアオフ g クーリングオフ h 任意 i 法定



4. 排便について、以下の問いに答えなさい。 8 【こことからだのしくみ】

(1) 次の記述が排便の仕組みについて正しい文章になるように、適切な語句を下記の語群からアルファベットを選び、() に記入しなさい。(配点 1×4)

S 状結腸

↓ 便の重みや蠕動運動により便が移動する

(① k.直腸) : 蓄便され、直腸が刺激されると脳が便意を感じる

↓

内肛門括約筋 : (② e.副交感) 神経の働きにより緩められる

↓

トイレに入る : 排便の準備を整える

↓

外肛門括約筋 : (③ g.体性) 神経の働きにより緩められる

↓

排便 : 標準的は排便回数は 1 日に (④ n.1~3) から 3 日に 1 回

a. 下行結腸 b. 胃結腸反射 c. 腸腺 d. 虫唾
e. 副交感 f. 交感 g. 体性 h. 自律
i. 中枢 j. 十二指腸 k. 直腸 l. ぜんどう運動
m. 予防 n. 1~3 o. 3~5

(2) 排便が順調に行われず便秘になることで、どんなリスクが生じるか答えなさい。(配点 2)

虚血性腸炎、腸閉塞(イレウス)、免疫低下、ストレス、イライラする、痔、
疲労感、太りやすくなる、体臭が臭くなる 等 ○食欲低下 ○排便ショックを起こすリスクが増える

(3) 便秘にならないようにするケア方法を答えなさい。(配点 2)

水分を摂る、食事をバランスよく食べる、食物繊維の多いものを食べる、歩行など適度な運動をする、腹部マッサージ、下剤を使用、定時の排泄介助をしてリズムを作る、排便リズムをアセスメントする 等

5. 老年期の説明に該当する用語について、適切なものを下記の語群から選んで答えなさい。(配点 1×4) 【発達と老化の理解】

①加齢による心身の変化に対し、本人が主観的に「高齢者になったな」と感じること。	d 老性自覚
②老化にうまく適応した幸せな老年期の生き方のこと。「長寿であること」「生活の質が高いこと」「社会貢献をしていること」などで構成される。	c サクセスフルエイジング
③バトラーが提唱し、「年を取っている理由で老人たちを一つの型にはめ差別すること」と定義されるもの。	l エイジズム
④定年による社会的役割の喪失、子どもの自立、配偶者や友人との死別など、老年期は孤独感や不安感が生じる時期。	i 喪失体験

a アクティブエイジング b プロダクティブエイジング c サクセスフルエイジング d 老性自覚 e 生理的老化 f 加齢 g エピソード体験 h 不安体験
i 喪失体験 j プライミング k エピソード l エイジズム m プログラム

6. 高血圧症について、() 内に適切な語句を記入しなさい。(配点 1×4) 【発達と老化の理解】

- ①血圧とは、(動脈) を流れている血液が、血管の壁を内側から押す力のこと
- ②日本高血圧学会のガイドラインで、高血圧は収縮期血圧 (140) mmHg 以上、または拡張期血圧 90mmHg 以上と定義されている。
- ③高血圧の状態が続くと、(血管壁) が分厚く硬くなる。血管、血管の壁も○
- ④収縮期血圧と拡張期血圧の差が大きくなると、心臓が (心肥大) を起こし、細い血管の多い脳、腎臓、目などの血管が出血を起こす。
○肥大

7. 食事について、以下の問いに答えなさい。 8 【生活支援技術】

【問題】 特養入所中の A 様は、最近食べ物や飲み物でむせてしまうことが増えてきました。居室担当のあなたは、誤嚥性肺炎の対策をするよう、ユニットリーダーから指示されました。

(1) 誤嚥に注意が必要な食べ物は何か、その特徴はどんなものか、注意が必要な理由は何か答えなさい。(配点 2)

(例) もち・だんご	粘りが強い	誤嚥してしまうと吐き出しにくく、窒息の危険性が高い
パン・ドーナツ	パサパサしている	水分が少なく、飲み込みにくい
たこ・いか	噛み切りにくい	大きいまま誤嚥すると窒息の危険性が高い

- ・ピーナッツ・クッキーのり・わかめ／バラバラになり、口のなかでまとまりにくいもの、口の中に張り付くもの／口の中で碎けるものや刻み食は、気管に入りやすい、口の中に張り付いて飲み込みにくい
- ・ラーメン・そば／長いもの／すすって食べると気管に入りやすい
- ・お茶・ジュース／サラサラした液体／誤って気管に入ってしまうやすい
- ・酢の物／酸味が強いもの／酸味の刺激によりむせやすい 等
- 根菜類
- ×誤嚥に注意が必要な食材としてメジャーではないもの (肉、焼き魚、ほうれん草、小松菜)



(2) 食事介助時（食事介助中やその前後）にできる誤嚥防止の対策を答えなさい。（配点 2）

例：食事介助は健側から行う

- ・食前に嚥下体操を行う
- ・いすに凭れず前屈みの姿勢をとっていただく
- ・いすと背中の中にクッションを挟んで前屈みの姿勢を整える
- ・逆流を防ぐためすぐ横にならないように配慮する
- ・口腔内を清潔に保つ
- ・口の中に食べ物があるときは話しかけない
- ・食べやすい大きさのスプーンを使用する
- ・食事の形態や内容に留意する

○汁物から食べる ○嚥下を確認してから次を食べる ○とろみをつける

(3) 誤嚥が疑われる状態にはどのようなものがあるか答えなさい。（配点 2）

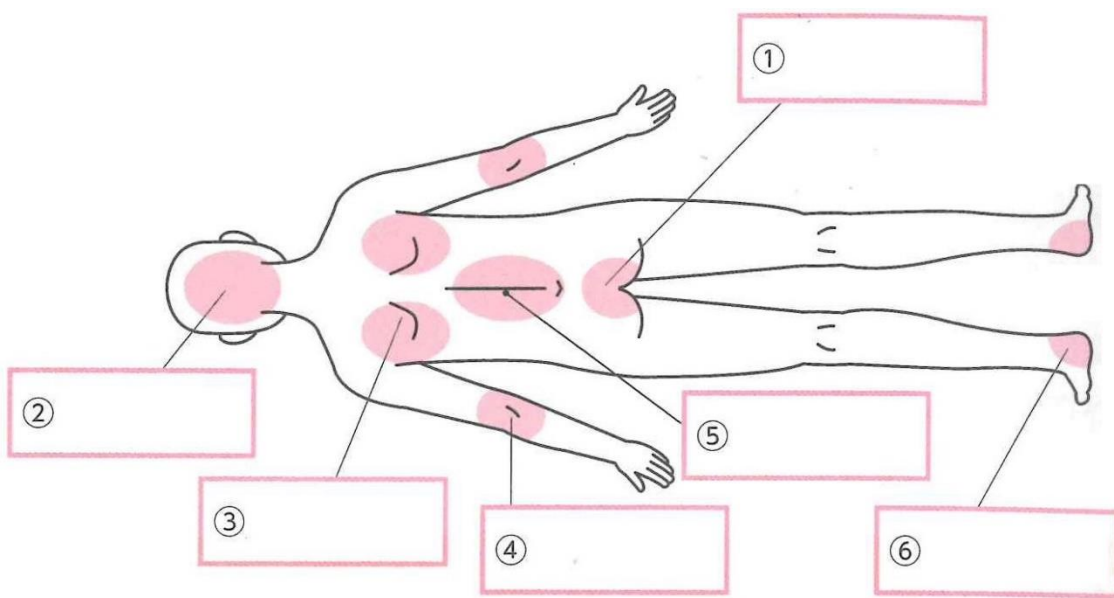
例：食事中によくむせる

- ・息苦しさがある
- ・脱水・低栄養状態
- ・食事に 1 時間以上かかる
- ・夜間に咳き込みが見られる
- ・肺炎・発熱が繰り返される
- ・食べ物が口の中に残る
- ・痰がからむ
- ・声がガラガラする
- ・食事中に鼻水がでる
- ・体重が減少する
- ・食事量が減る
- ・食事中によくむせる 等
- チアノーゼ
- △発熱する

(4) A 様がどうしてもおもちが食べたいとおっしゃった場合、あなたならどうするか答えなさい。（配点 2）

- ・小さく切る
 - ・お餅を煮て提供する
 - ・水分と一緒にとっていただく
 - ・食べる姿勢に注意する
 - ・白玉だんご等の代用品を提供する
- * 危険なので断る等のマイナスな答えは×

8.褥瘡の好発部位の名称を右記の語群からアルファベットで選び、 内に記入しなさい。（配点 1×6）【生活支援技術】



A 耳介部 ・ B 大転子部 ・ C 肘関節部 ・ D 後頭部
E 仙骨部 ・ F 肩甲骨部 ・ G 尾骨部 ・ H 坐骨部
I 脊柱部 ・ J 肩関節部 ・ K 胸腹部 ・ L 踵骨部
M 膝関節外側部 ・ N 足関節外果部

①E 仙骨部 ②D 後頭部 ③F 肩甲骨部 ④C 肘関節部 ⑤I 脊柱部 ⑥L 踵骨部

9.ケアカンファレンスについて、適切なものを 2 つ選び、番号で答えなさい。（配点 1×2）【コミュニケーション技術】

- ①検討する内容は、インフォーマルなサポートに限定する。
- ②介護福祉職の行った介護に対する批判を中心に進める。
- ③利用者本人の参加を促し、利用者の意向をケア方針に反映させる。
- ④意見が分かれたときには、多数決で決定する。
- ⑤関係者が集まり利用者やサービスに関する情報を共有する場であるとともに、問題を解決する場である。

×①フォーマルなサポートも検討する ×②批判する場ではない ×④多数決で決めるのではなく、利用者の利益により繋がる選択をする

③	⑤
---	---

10.高齢者虐待について、下記の問いに答えなさい。 6 【介護の基本】

【問題】 あなたはデイサービスのスタッフです。ある日 C 様を迎えに行った際、C 様に対して大声で罵声を浴びせる息子様の声が聞こえてきました。チャイムを鳴らすと静かになり、C 様がいつも通りのご様子で出てこられたため、デイサービスへお連れしました。

デイサービス到着後、あなたが C 様に、「息子さんから酷いことを言われていたけれど、大丈夫ですか？何かお手伝いできることはありますか？」と伺うと、C 様は少しためらった後、「最近息子がイライラしていてすぐ怒鳴るし、物を投げつけられることもあって怖い」と話してくださいました。虐待を見つけたら通報する義務があることを C 様に説明すると、「そんなことをしたら息子が警察に捕まってしまうからやめてほしい」と通報を拒否しました。



(1) このあと、あなたは何と答えますか。(配点 2)

- ・高齢者虐待は虐待をする側への支援もしてもらえるので、息子さんの置かれている状況や不安の解消をお手伝いできるかもしれない
 - ・息子さんとCさんの関係が悪くならないよう配慮しながら進めていくので、地域包括支援センター（行政）に相談させてほしい
 - ・Cさんのことも心配ですが、息子さんのことも心配なので、大きな事故につながる前に行政に助けてもらいましょう 等
- ※ C様と息子様を心配する言葉であれば○ * 本人や家族に寄り添った声掛けなら○
※「虐待は犯罪なので通報します」と言って断る、黙って通報する 等、C様の気持ちを無視する内容は×

(2) 介護スタッフは在宅で起こる高齢者虐待を発見する可能性が高い立場です。しかし高齢者本人は家族の事を心配し、自ら訴えてくれない場合が多いため高齢者が発する小さなサインを見逃さない事が大切です。虐待を疑わせるサインを答えなさい。(配点 2)

例：入浴時に発見した身体のアザや褥瘡の悪化

- ・本人の様子がおかしい（急におびえたり怖がる、帰りたくないと言う、自傷行為がみられる 等）
- ・不衛生な状態になっている。衣類などから異臭がする / 明らかに受診させてもらっていない / お金はあるのに利用料金や生活費の支払いができない
- ・自宅の様子に違和感を感じる（ゴミ屋敷状態、昼間から雨戸が閉まっている 等）
- ・歩行状態がいつもと違う、座位を保つことが困難 / 急に痩せたり栄養状態が悪い

(3) 高齢者虐待には、自宅での養護者による虐待以外に、施設従事者からの虐待もあります。施設従事者からの虐待でもっとも多いものを下記の語群の中から記号で選び、その特徴を答えなさい。(配点 2)

記号	特 徴
①	叩く、つねる、身体に危害を加える、 睡眠薬を過剰に与える、部屋に閉じ込める、 手足を縛る、外部との接触を遮断する、食べ物などを無理やり口に入れる 等

①身体的虐待 ②心理的虐待 ③経済的虐待 ④性的虐待 ⑤ネグレクト

11. 認知症について、以下の問いに答えなさい。 7 【認知症の理解】

【事例】

N 様（男性、要介護 2）

糖尿病、高血圧症の治療中。過去に軽い脳梗塞を発症したが、麻痺は残っていない。

運動機能は保たれているが、服の着方やトイレの仕方、道具の使い方が分からない。

(1) N 様のような症状を何と言うか答えなさい。(配点 1)

失行

(2) 事例のような症状の方には、どのような対応をすればよいか答えなさい。(配点 2)

- ・動作ひとつひとつを説明し、行っていたく
- ・反復練習を行い、動作を思い出していただく
- ・方法を図に書いて壁に貼る
- ・必要なものだけ居住スペースに置き、なるべく使用するものを減らす 等

(3) N 様には何らかの認知症が疑われるが、既往歴や症状から、どの種類の認知症が考えられるか答えなさい。(配点 1)

脳血管性認知症 ○脳血管認知症

(4) N 様のように「以前できていたことができない」「できることとできないこと的能力差を自覚している」方は、自分に対する歯がゆさから、様々な感情をコントロールすることが難しくなり、怒りや悲しみなどの感情が通常よりも激しく表れやすくなります。このような症状を何というか、またこのような症状が出現した方への適切な対応方法を答えなさい。(配点 1+2)

症状名	感情失禁
適切な対応方法	・できない事を責めるのではなく、できる事を尊重し、苦しみに共感する。 ・感情失禁や感情の波を理解し、適切な距離をとる。 ・生活習慣のコントロールやリハビリに取り組んでもらえるようサポートする。 ・失語や麻痺などによるコミュニケーションの障害を理解して、本人のストレスが少しでも軽くなるような対応をする。